

# 予備品箱強度試験要領書

## 1. 適用範囲

本書は、予備品箱WY804030A4(図番:19933-013R00)の強度試験に適用する。

## 2. 目的

限界耐荷重を試験により確認し、客先に提出する。  
結果により箱の耐荷重が適切かどうか確認し、場合により構造を再検討する。

## 3. 試験項目

強度試験での確認事項を下記に示す。

### 1) 荷重試験

ウェイトを箱内部に入れてクレーンで地上より30cm程度まで吊り上げて10分間保持する。  
その後降ろしてから各部に異常が無いか確認する。

#### 試験回数と重量

- ・1回目=100kg
  - ・2回目=200kg
  - ・3回目=300kg
  - ・4回目=400kg
  - ・5回目=500kg
- 保持時間:各10分

#### ウェイト詳細

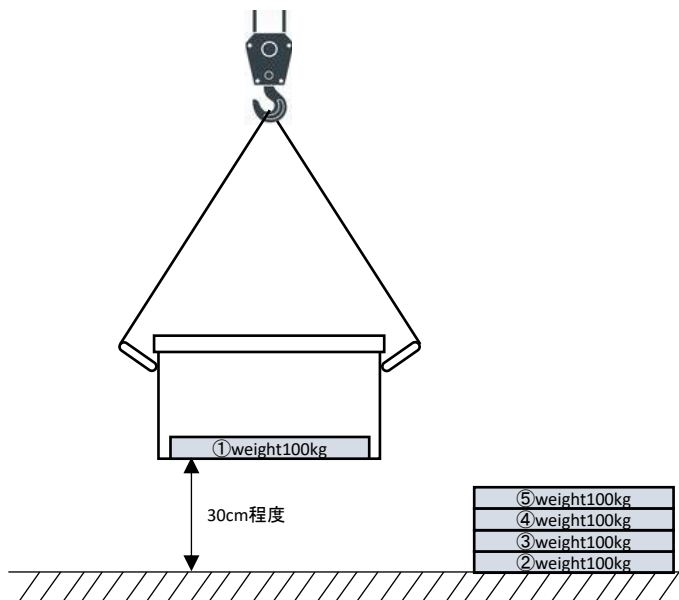
- ・700×350×52t(100kg)=5枚
- 材質:SS

※箱の破壊が起きて継続不可能になれば試験をストップする。

#### 確認項目

- 【記録】・本体、蓋の凸凹量(各面に直尺を当てて確認)
- 【記録】・本体、蓋、取っ手各部の溶接状況(外れ、割れの箇所がないか確認)

※ 試験中の吊り上げた予備品箱の下には入らないこと。また、1m以上離れること。



### 2) 破壊検査

- 【記録】1)の荷重試験で破壊した予備品箱の状態を詳細に記録に取る(破損状態、場所、変形量など)